免許教科

761	丁软件			理			科					
/	45 - 1 1	·に関す 的事項 区 タ	_			授	業	科	目			単位
	H-fra	TH.	学	0	物	理	E	学	椎	旡	論	2
	物	理	子		生	態	環	境	物	理	学	2
				0	化		学		概		論	2
					化			学			Ι	2
					化			学			Π	2
	化		学		土井	攘及	び作	物的	栄養	学根	ŧ論	2
					機	器	分	r t	斤	化	学	2
					物		理		化		学	2
					有	栈	幾	化	Ä	学	I	2
				0	生	华	7	学	椎	旡	論	2
教					動	物	生	態	学	概	論	2
科に					環	境	昆	虫	学	概	論	2
関					植	物	遺	伝	資	源	学	2
する					植	物	感	染	生	理	学	2
専	生	物	学		昆	j	1	体	Ŗ	Ŕ	学	2
門的					応	用	分	子	昆	虫	学	2
事					植	物:	分类	頁 •	生	態	学	2
項					基	砭	芒	遺	存	ż	学	2
					生	华	Ŋ	化	1	学	I	2
					樹			木			学	2
	地		学	0	地		学		概		論	2
		νν. ↔ Ε Λ			土:	均	美	物	尹	1	学	2
		学実験 タ活用ネ	(コン を含		自	然和	学	実懸) (4	物 理	!)	1
	む。)、1	化学実験	£ (=		自	然和	学	実懸	免 (1	匕学	:)	1
		タ活用: 生物学:			生	物	• 1	匕 学	実	験	I	2
	(コンヒ	ュータ活	用を		自	然和	学	実懸	免 (<u>/</u>	生物	()	1
) 、地学: ゚ ュータ活 <i>。</i>			生			匕 学		-	Π	2
	含す					 《科学					≦)	1
Ŋ	# 11	σ 1 12 ±	会 少十			科教			理?			2
	教 科 青報通	の 指 準信技術の	多法の活	0		科教				科Ⅱ		2
用	を含	む。)		_	科教						2
					教	科教	育	去 (理	科 IV	()	2

		農	業				
	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分		授業	科	目		単位
		※ 作	物	学	概	論	2
		園	芸	学	概	論	2
		植	物	病	原	学	2
		造	園	学	概	論	2
		植	物病	害『	方除	学	2
		農	場	5		習	2
		生	物資源	科学	演習	Ι	1
		生	物資源	科学	演習	Π	1
		生	物資源	科学	演習	Ш	1
		生	物資源	科学	演習	IV	1
		植	物育	種	学	Ι	2
		植	物育	種	学	Π	2
		植	物寄	ř 生	病	学	2
		植	物ウ~	ィル	ス病	学	2
		生	物多	様	性	学	2
教		天	然	物	化	学	2
科に		食	用作	物	学	Ι	2
関		食	用作	物	学	Π	2
する	農業の関係科目	果	樹	烹	芸	学	2
専		蔬	菜	烹	芸	学	2
門的		花	卉	烹	芸	学	2
事		造	園設意	+ •	計画	論	2
項		公	共	緑	地	学	2
		エ	芸	作	物	学	2
		飼	料	作	物	学	2
		砂		防		学	2
		森	林	保	護	学	2
			林美学	及び		論	2
		農	業	気	象	学	2
		測		量		学	2
		野	生 動		第 理	学	2
		※ 基			上 物	学	2
		※ 食	品 栄 剤			論	2
		※ 森	林	-	策	学	2
		※ 畜	産基		斗 学	Π	2
		※ 農	業土		学 概	論	2
	and sile or or	※ 農	業		策	学	2
夂		○職	業	‡		導、	1
一 (情	教 科 の 指 導 法 青報通信技術の活						2
用	を含む。)	○教	科教育	去 (⋛業 Ⅱ)	2

備考1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。

応用生命科学科 高等学校教諭一種免許状

النار	計教科			理			科				
/	専門	に関する 的事項の 目 区 分)			授	業	科	目		単位
	物	理	学	\circ	物	珰	Ē.	学	概	論	2
				0	化		学		概	論	2
					実	駶	È	計	画	法	2
					機	器	S	} †	斤 化	学	2
					生		態		化	学	2
	化		学		有	模	É	化	学	I	2
					有	模	É	化	学	Π	2
					土均	襄及	び作	F物学	栄養学標	死論	2
					物		理		化	学	2
					栄	養	, silk	化	学	I	2
				0	生	牧	Ŋ	学	概	論	2
					生		物		学	I	2
教					生		物		学	Π	2
科に					応	用。	生 1	命 彩	学 概	論	4
関					基	砝	r E	遺	伝	学	2
する					基	礎	微	女 生	生 物	学	2
専					応	用	分	子	昆 虫	学	2
門的	生	物	学		生	牧	Ŋ	化	学	I	2
事					生	牧	J	化	学	Π	2
項					生	牧	J	化	学	Ш	2
					環	境	昆	虫	学 概	論	2
					動	物	生	態	学 概	論	2
					植	物	遺	伝	資 源	学	2
					植	物:	分类	領 •	生 態	学	2
					分	子	細	胞	生 物	学	2
	地		学	0	地		学		概	論	2
	「物理学	学実験 '活用を	(コン 今		自多	然 科	学	実懸	食(物理	1)	1
	む。)、	化学実	. 白. 験		自多	然 科	学	実懸)(化学	:)	1
		ュータ活用			化		学		実	験	2
	百むこり験(コン	、生物学 ピュータ泪	5月		自多	然 科	学	実懸	食(生物	ŋ)	1
	を含む	。)、地学	実		生	牧	Ŋ	学	実	験	2
		t゚ュータ記む。)	5円		自然	科学	実験	(地)	求惑星科:	学)	1
		/		0	教和	斗教	育	法(理科 I)	2
		り指導		0	教和	斗教	育	法(理科Ⅱ	()	2
	育報連信 を 含	言技術の む。)店)		教和	斗教	育	法(理科Ⅱ	I)	2
,		_ 0	1		教和	斗教	育	法(理科IN	7)	2

		農		業				
	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分		授	業	科	1		単位
		遺	伝	子	制	御	学	2
		植	物	育	種	学	Ι	2
		植	物	育	種	学	Π	2
		※ 基	礎	分	子 生	物	学	2
		分	子	<u> </u>	Ė	物	学	2
		分	子	西	孝	素	学	2
		植	物	折	苪	原	学	2
		※ 作	物	=	学	概	論	2
教科		昆	虫	折	岗	理	学	2
に		植	物点	ウ イ	ルフ	ス病	学	2
関す	曲光の間体到口	生	物	有	機	化	学	2
る	農業の関係科目	生	殖		Ė	物	学	2
専門		応		用	菌		学	2
的		天	然	4	勿	化	学	2
事項		細		胞	工		学	2
		蛋	白	質	質	工	学	2
		食	品	機 怠	能 化	学	I	2
		※ 食	品第	关 養	化	学 概	論	2
		※ 森	林	Ę	女	策	学	2
		※ 畜	産	基码	楚 科	学	Π	2
		※ 農	業	土 7	卞 学	概	論	2
		※ 農	業	Ę	文	策	学	2
	職業指導	〇職		業	指		導	1
	教 科 の 指 導 法 青報通信技術の活	〇教	科教	育 法	(農	業 I)	2
用用	を含む。)	〇教	科教	育 法	(農	業Ⅱ)	2

- 備考1
- 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。
 5 授業科目欄中の※印は、教職課程においての選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 6 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

生物機能化学科 高等学校教諭一種免許状

免許教科

	可软件	理		科				
/	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分			授業	丰 科	Ħ		単位
		0	物	理	学	概	論	2
	物 理 学		物	理		学	I	2
			物	理		学	Π	2
		0	化	学		概	論	2
			土.	壌及び	作物的	栄養学想	統論	2
			有	機	化	学	I	2
			有	機	化	学	Π	2
			物	理		化	学	2
	化 学		栄	養	化	学	Ι	2
			実	験	計	画	法	2
			機	器	分 🕏	折 化	学	2
			微	生	物	化	学	2
教			栄	養	化	学	П	2
科			木	質バイ	オマ	ス変換	学	2
に関	_	0	生	物	学	概	論	2
す			生	物	化	学	I	2
る専			生	物	化	学	П	2
門			生	物	化	学	Ш	2
的事	生 物 学		分	子 細	胞	生 物	学	2
項			基	礎	微	生物	学	2
			環	境 昆	虫	学 概	論	2
			植	物遺	伝	資 源	学	2
			基	礎	遺	伝	学	2
	地 学	0	地	学	:	概	論	2
			自	然科学	主実懸	魚(物 理	!)	1
	「物理学実験(コン		自	然科学	主実験	魚(化 学	:)	1
	ピュータ活用を含む。)、化学実験		化	学	実	験	I	1
	(コンピュータ活用を		化	学	実	験	П	1
	含む。)、生物学実験(コンピュータ活用		自	然科学		食(生物)	1
	を含む。)、地学実		生.	物	学	実 験	I	1
	験 (コンピュータ活用 を 含 む 。) 」		生	物	学	実 験	П	1
			自然	杰科学実 馴	倹(地球	*惑星科学)	1
	I	0						2
	教科の指導法		-	科教育		〔理科Ⅱ		2
(相	情報通信技術の活 を 含 む 。)			科教育		(理科Ⅲ		2
用	を 含 む 。)		-			(理科IV		2
			拟	11 1 1 月	14	生件 IV)	4

農業		
教科に関する 専門的事項の 授業科目 科目区分		単位
農産物利用	学	2
応 用 菌	学	2
生物有機化	二 学	2
生物機能化学演	習 I	1
生物機能化学演	習 II	1
生物機能化学演	習 III	1
生物機能化学演	習 IV	1
生物機能化学演	習 V	1
植物栄養	学	2
※基礎分子生物	勿 学	2
分子酵素	学	2
肥料	学	2
※食品栄養化学	概 論	2
教 食品機能化学	学 I	2
	学Ⅱ	2
関 ※作物学概	論	2
るした。は物病原	学	2
専 土 壌 学	I	2
的 土 壌 学	П	2
事	i I	2
遺伝子制御] 学	2
造林	学	2
農業経営	学	2
基礎家畜生産	学 IV	2
農業気象	学	2
基礎畜産物利用	学 I	2
酪農生産物利	用学	2
昆 虫 病 理	学	2
※森林政策		2
※畜産基礎科等	学Ⅱ	2
※農業土木学	既 論	2
※農業政策	学	2
職業指導〇職業指	導	1
各教科の指導法 (糖期及居共作の共	Ι)	2
(情報通信技術の活 用 を 含 む 。) □ ②教科教育法 (農業		2

備考1

- 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。

- 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。 5 授業科目欄中の※印は、教職課程においての必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。 6 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

森林科学科 高等学校教諭一種免許状

	正 教件	理			科					
7	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分			授	業	科	目			単位
		0	物	理	ļ	学	根	Æ	論	2
			構	造	į	力	当	É	I	2
	物 理 学		構	造	į	力	当	É	Π	2
			構	造	力	学	演	習	I	1
			構	造	力	学	演	習	Π	1
		0	化		学		概		論	2
			化			学			I	2
			化			学			Π	2
			木		材		化		学	2
			木	質バ	イ:	オマ	スタ	変 換	学	2
	化 学		機	器	分	†	斤	化	学	2
101			有	機	Š	化	学	É	I	2
教科			有	機	Š	化	等	É	Π	2
に			物		理		化		学	2
関す			実	験	į	計	重	ij	法	2
る声			土:	壤及	び作	き物き	栄養	学概	E論	2
専門		0	生	物	J	学	根	Æ	論	2
的事			生.	物	J	化	当	<u> </u>	I	2
爭項	生物学		生.	物	J	化	当	<u> </u>	Π	2
			基	礎	微	t !	Ė	物	学	2
			樹	木	:	生	理	E	学	2
			樹			木			学	2
	地 学	0	地		学		概		論	2
	,		土	壌	į.	物	廷	E	学	2
	「物理学実験(コン		自	然科	学	実懸) (4	勿 理)	1
	t° 1-9活用を含む。)、化学実験		自	然科	学	実懸) (と 学)	1
	(コンピュータ活用を		木	材	化	<u> </u>	学	実	験	1
	含む。)、生物学実験(コンピュータ活用		自	然科	学	実懸) (生	主 物)	1
	を含む。)、地学実		木	材	珥		-	実	験	1
	験 (コンピュータ活用 を 含 む 。)		造	林		学	美	₹	習	2
<u></u>	[c t u o /]		自然	 然科学	実験	(地理	求惑』	星科 与	学)	1
_	# 1 0 16 14 1		-	科教						2
	教 科 の 指 導 法 情報通信技術の活	0	教	科教	育	法(理制	¥ II)	2
用	を含む。)		教	科教	育 i	法(理制	¥ Ⅲ)	2
			教	科教	育	法(理和	와 IV)	2

		農	業			
/	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分		授業	科目		単位
		生	態系	管理	学	2
		※ 森	林	政 策	学	2
		森	林 空	間機能	学	2
		造		林	学	2
		砂		防	学	2
		森	林	測 量	学	4
		流	域	保 全	論	2
		森	林	社 会	学	2
教		森	林	計 画	学	2
科に		環	境 資	源 経 済	学	2
関		き	\mathcal{O}	2	学	2
する	農業の関係科目	森	林	保 護	学	2
専		森	林美学	及び更新	論	2
門的		木	質	材 料	学	2
事		野	生 動	物 管 理	学	2
項		パ	ルプ	• 製 紙	学	2
		生	物多	様 性	学	2
		※ 作	物	学 概	論	2
		※ 基	礎 分	子 生 物	学	2
		※ 食	品栄養	養 化 学 概	論	2
		※ 畜	産 基	礎 科 学	Π	2
		※ 農	業土	木 学 概	論	2
		※ 農	業	政 策	学	2
-	職業指導	〇職	業	指	導	1
-	教 科 の 指 導 法 青報通信技術の活		科教育)	2
用	を含む。)	〇教	科教育	法(農業Ⅱ)	2

- 備考1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。

 - 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から 1 単位以上、計 2 0 単位以上を修得すること。 3 最低修得単位数(2 4 単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。

 - 展子的には、工品の行政より30年にあります。 投業科目欄中の〇印は、教職課程においての必修科目とする。 技業科目欄中の※印は、教職課程においての選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

畜産科学科 高等学校教諭一種免許状

元	计教件	理	!		科				
7	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分			授	業	科	目		単位
	物 理 学	ÉC	物	理	1	学	概	論	2
		\circ	化		学		概	論	2
			畜	産	基	礎	科 学	I	2
	化	5	土	壌及	び作	き物き	栄養学	既論	2
	10 -	-	栄	養	ž.	化	学	П	2
			機	器	分	†	斤 化	学	2
Les .			実	騎	È	計	画	法	2
教科		С	生	牧	IJ	学	概	論	2
に			生		物		学	I	2
関す			生		物		学	П	2
るま	生 物 学	叁	基	砝	ŧ	遺	伝	学	2
専門			基	礎	微	<u> </u>	生 物	学	2
的事			動	物	生	態	学 概	論	2
事項			分	子	細	胞	生 物	学	2
	地 当	ÉC) 地		学		概	論	2
	「物理学実験(コ		自	然科	学	実懸	10 (物理	且)	1
	ピュータ活用を含む。)、化学実験(コ	Ż	自	然科	学	実験)(化学	乞)	1
	ピュータ活用を含む。)、生物学実験		畜	産	基	礎	実 験	I	1
	(コンピュータ活用を含	Š	自	然科	学	実験)(生物	7)	1
	む。)、地学実験(コ ピュータ活用を含		応	用 :	食占	品 彩	学 実	験	1
	む。)	J	自名	然科学	実験	(地球	:惑星科学	٤)	1
_	In all the SVC S	-	教	科教	育	法(理科]	[)	2
	教 科 の 指 導 st 情報通信技術の活		教	科教	育	法(理科I	I)	2
用	を含む。)	1	教	科教	育	法 (理科Ⅱ	I)	2
			教	科教	育	法 (理科厂	V)	2

		農	業
/	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分		授業科目 単位
		₩ 7	畜 産 基 礎 科 学 Ⅱ 2
		并	细胞組織生物科学 2
		Ē	畜牧体系科学2
		1	基礎畜産物利用学 I 2
		1	基礎畜産物利用学Ⅱ 2
		2	分子細胞生物学2
		耳	動物機能栄養科学 2
		\$	家 畜 繁 殖 学 2
		\$	家畜遺伝育種学 2
		※ 1	食品栄養化学概論 2
		\$	家畜疾病学1
		Ē	畜産食品衛生学 2
		耳	動物機能栄養科学実験 1
教		Ē	畜牧体系科学実験 1
科		Ē	畜産基礎実験Ⅱ 1
に関		\$	家畜生產実習2
す	農業の関係科目	4	女 場 実 習 2
る専		ì	遺伝繁殖科学実験 1
門的		9	家畜人工授精実習 1
事		1	基礎家畜生産学Ⅱ 2
項		1	基礎家畜生産学Ⅲ 2
		1	基礎家畜生産学IV 2
		5%	家畜臨床繁殖学 1
		7	有機性廃棄物工学 2
		£	同料作物学2
		※	基礎分子生物学2
		1.	生物多様性学2
		ŧ	環 境 計 測 学 2
		月	農 業 気 象 学 2
		※ 1	作 物 学 概 論 2
		※ ¾	森 林 政 策 学 2
		※ 点	農業土木学概論 2
		※ 点	農 業 政 策 学 2
	職業指導	○ 月	
	教科の指導法	〇 才	教科教育法(農業 I) 2
用用	青報通信技術の活 を 含 む 。)	〇書	教科教育法(農業Ⅱ) 2

- 備考1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。
 5 授業科目欄中の※印は、教職課程においての選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 6 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 7 職業指導は丁学報で開業されている科目である。間業時期等の具体的な内容は提示により周知する。

 - 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

生物環境工学科 高等学校教諭一種免許状

	T 我 /	1		理			科					
7	専門	 に関す 的事項 目 区 2	の			授	業	科	Ħ			単位
				0	物	理	1	学	村	燛	論	2
					物		理		学		I	2
					物		理		学		Π	2
					生	物	環	境	物	理	学	2
					材		料		力		学	2
	物	理	学		材	料	ナ] 4	学	演	習	1
	199	生	于		土		質		力		学	2
教					構		造		力		学	2
科に					電		気		工		学	2
関					熱			力			学	2
する					構	造	ナ] 4	学	演	習	1
専					応		用		力		学	2
門的	化		学	0	化		学		概		論	2
事	TL		于		土均	襄及	び作	物的	栄養	学想	无論	2
項	生	物	学	0	生	物	IJ	学	村	燛	論	2
	地		学	0	地		学		概		論	2
	76		7		土	墐	SEC.	物	Ŧ	里	学	2
	「物理学	:実験(コン	ピュータ		自	然科	学	実懸	食(4	物 理	!)	1
		含む。)、化 ピュータ活用			自	然科	学	実懸	食(1	化 学	:)	1
	む。)、生	上物学実験 用を含む	き (コン		自	然科	学	実懸	角(生物	j)	1
	学実験	(コンヒ゜ュー	活用		自然	科学	実験	(地球	惑星	科学)	1
	を含	む。)]		生	物環	境:	工学	基	礎 実	験	1
_	ارم ابط	_ 112 33	da 3.1	0	教	科教	育	法 (理	科 I)	2
		の指導信技術		0	教	科教	育	法 (理	科Ⅱ)	2
用	を含)		教	科教	育	法 (理	科Ⅲ	()	2
					教	科教	育	法 (理	科 IV	7)	2

		農業	
	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分	授業科目	単位
		※農業土木学概論	2
		フィールド情報システム学	2
		※作物学概論	2
		農産物・食品加工工学I	2
		農 作 業 学	2
		生物環境工学実習	1
		水 文 学	2
		農地環境工学	2
		農産物・食品加工工学Ⅱ	2
		農業機械学	2
		農業水利学	2
		水 理 学	2
		測 量 学	2
		生物環境工学実験 I	1
教		生物環境工学実験Ⅱ	1
科に		生物環境工学実験Ⅲ	1
関		生物環境工学実験 IV	1
する	農業の関係科目	機械設計製図	1
専		農業土木学演習	1
門的		農業経営学	2
事		砂防 学	2
項		農業気象学	2
		※農業政策学	2
		有機性廃棄物工学	2
		農村計画学	2
		環境計測学	2
		園 芸 学 概 論	2
		生物生産環境工学	2
		フィールドロボット工学	2
		測 量 学 実 習	1
		農業造構学	2
		※基礎分子生物学	2
		※食品栄養化学概論	2
		※森林政策学	2
		※畜産基礎科学Ⅱ	2
Æ:	職業指導	〇職 業 指 導	1
	教 科 の 指 導 法 青報通信技術の活	〇 教 科 教 育 法 (農業 I)	2
用"	を 含 む 。)	○教科教育法 (農業Ⅱ)	2

- 備考1
- 1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位以上を修得すること。 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。

 - 授業科目欄中の〇印は、教職課程においての必修科目とする。 授業科目欄中の〇印は、教職課程においての必修科目とする。 授業科目欄中の※印は、教職課程においての選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。 物理学概論、化学概論、生物学概論、地学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

農業経済学科 高等学校教諭一種免許状

	H 33/11	- (公			Б	7.					
$\sqrt{}$	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分				授	業	\$;	科	目			単位
	「法律学(際法を含む。	国)		法	1	津	当	É	概		論	4
	政治学(国	際	0	政	ì	台	当	É	概	-	論	4
	政治をむ。)	含」		農			詳	É			法	2
				3	ク	口	農	業	経	済	学	2
教				7	ク	口	農	業	経	済	学	2
科			0	共	生	社	:	÷ ;	径	済	学	2
に関する専	済学 (国際経済を含む。)」	経		環	ţ	竟	Ē	ţ	策	:	学	2
		経		開	Š	発	彩	Z E	済	:	学	2
				協	[司	糸	1	合		学	2
門的				応	用	計	- 量	ł ;	径	済	学	2
事項				農	産	į	物	貿	. !	易	論	2
				農	資	源	経	済	学	概	論	2
	「哲学、倫理 学、宗教学、心			倫	3	里	当	É	概		論	2
			0	哲		学	2	7	既		論	2
		<u>ا</u> .		宗	Ž	教	当	É	概		論	2
				心	3	理	当	É	概		論	2
	教 科 の 指 導 情報通信技術		0	教科	斗教:	育法	: (木	t会	• 公	民	I)	2
,			0	教禾	斗教	育法	: (木	t会	• 公	:民	Π)	2

		農			美	É					
	教科に関する 専門的事項の 科 目 区 分			授	業		科	目			単位
			農	, India	業	彩	Ĕ.	営	i	学	2
		*	農	i	業	更	ţ	第	į	学	2
			農	業	経	済	学	実	験	I	2
			農	業	経	済	学	実	験	П	2
			農	業	経	済	学	実	験	Ш	2
			農		場	i i		実		習	2
			農	業	技	: 徘	デ	移	転	論	2
			農	業	経	崖	<u> </u>	管	理	論	2
			農	業	経	惶	f j	政	策	論	2
教			農	1	業	7	f	体	į.	論	2
科に関す			食	ı	品	声	Ē	業	È	論	2
			食	}	料	彩	Ž.	済	f	学	2
る			農	業	径	斉 岿	全朱	宇 別	」講	義	2
専門			農	業	経	B	Y	学	概	論	2
的事			基	礎	家	畜	生	産	学	Ш	2
項			遠	į	芸	当	ź	櫻	E	論	2
			環	境	資	初	泵 ;	径	済	学	2
			環	ţ	竟	言	t	浿	J	学	2
		*	作	!	物	当	ź	櫻	E	論	2
		*	基	礎	分	· -	<u>.</u>	生	物	学	2
		*	食	品	栄	養	化	学	概	論	2
		*	森	7	林	政	ţ	策	į	学	2
		*	畜	産	基	础	ž ;	科	学	Π	2
		*	農	業	±	: 1	ζ :	学	概	論	2
	職業指導	0	職		業		-	指		導	1
	教 科 の 指 導 法 青報通信技術の	0	教	科達	女 育	法	()	農業	į Ι)	2
	用を含む。)	0	教	科達	女 育	法	()	農業	ŧ II)	2

- 備考1 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から4単位を修得すること。
 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること。
 3 最低修得単位数(24単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。
 農学部では、上記の各表より36単位修得することを推奨する。
 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。
 5 授業科目欄中の※印は、教職課程においての選択必修科目とし、7科目の中から4科目を必ず修得すること。
 6 法律学概論、政治学概論、職業指導、各教科教育法は卒業要件単位とならないので注意すること。
 7 職業指導は工学部で開講されている科目である。開講時期等の具体的な内容は掲示により周知する。

農業経済学科 中学校教諭一種免許状

免許教科

	计教件	社			会				
\neg	教科に関する								
\angle	専門的事項の 科 目 区 分			授	業	科	目		単位
		0	日		本 史			学	2
	日本史・外国史	0	東	洋	史	学	概	論	2
		0	西	洋	史	学	概	論	2
			農	村		社	会	史	2
	地理学(地誌を含む。)	0	人	文		地	理	学	2
		0	自	然		地	理	学	2
			地	域	科	学	概	論	2
		0	外		玉		地	誌	2
教	5 N 65 N6		法	律		学	概	論	4
科に	「 法 律 学 、 政 治 学 」	0	政	治	•	学	概	論	4
関す			農			業		法	2
る専	「 社 会 学 、 経 済 学 」		3	クロ	2 農	業	経済	学	2
門			マ	クロ	2 農	業	経済	学	2
的事		0	共	生	社	会 ;	経 済	学	2
項			環	境		政	策	学	2
			開	発		経	済	学	2
			協	同		組	合	学	2
			応	用	計	量;	経 済	学	2
			農	産	物	貿	易	論	2
			農	資源	系 縚	¥. 済	学 櫻	无論	2
	「哲学、倫理 学、宗教学」		倫	理		学	概	論	2
		0	哲		学	7	既	論	2
			宗	教		学	概	論	2
	教 科 の 指 導 法 情報通信技術の活 を 含 む 。)	_					也理 歴 9		2
各 (f		0	教科	教育法	: (社	会・力	也理 歴 9	₽ Ⅱ)	2
用		0	教利	斗教育	法(社会	・公民	(I)	2
		0	教科	斗教育	法(社会	・公民	(II)	2

平成31年度入学者より

中学校の教育職員免許状を取得しようとする者 は、「大学が独自に設定する科目」として介護等 体験実習(1単位)を修得する必要があります。

「介護等体験実習について]

内 容: 介護等の体験とは、特別支援学校、養 護老人ホームなどの社会福祉施設等で、

障害者・高齢者に対する介護・介助・ 交流などの体験を行うことです。

対象者: 中学校の教育職員免許状を取得しよう

とする者が対象となります。ただし、 介護等に関する専門的知識・技術を有 すると認められる者、または身体上の 障害により介護体験等を行うことが困 難な者は、対象となりません。

期 間: 7日間以上の体験を行うことが必要で

す。(現状では、特別支援学校で連続 2日以上、社会福祉施設等で連続5日

以上となっています。)

その他: 介護等体験を履修するためには経費が

必要となります。

「介護等の体験」の実施時期・施設・必要経 費などの詳細については、決定次第、農学部 教務担当窓口からお知らせします。

- 「教科に関する専門的事項」から20単位以上、「各教科の指導法」から8単位を修得すること。 備考1
 - 2 「教科に関する専門的事項」は、それぞれの科目区分から1単位以上、計20単位以上を修得すること
 - 3 最低修得単位数(28単位)を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として算入できる。 農学部では、上記の各表より32単位修得することを推奨する。
 - 4 授業科目欄中の○印は、教職課程においての必修科目とする。
 - 5 法律学概論、政治学概論、日本史学、東洋史学概論、西洋史学概論は卒業要件単位とならないので注意すること。